



発行：さいとう歯科
〒272-0137
千葉県市川市福栄3-18-22
Tel：(047)399-8217
Fax：(047)399-8217
HP：http://www.saito-dent.com

和菓子の日「嘉祥（かじょう）」

ICDAS が拓く新しいむし歯治療

「嘉祥」は、お菓子を重んじる行事で、その起源は二説あります。一つは、平安時代、仁明天皇の御代に白亀が献上された祝いの宴説（『書言字考節用集』）、もう一つは、室町時代、六月納涼に武家が楊弓（ようきゅう=小さな弓矢）で遊び、敗者が中国の嘉定通宝（かじょうつうほう）16文で食べ物を買ひ、勝者をもてなした風習説（『日本歳時記』）。いずれにしても、起源や作法もはっきりしないまま、江戸時代に盛んに行われた行事でした。

宮中では、6月16日、七種の菓子が供えられ（図：とらや『数物御菓子見本帖』）、その内ひとつは「うづら餅」だったようです。親王には「大まんぢう」を、摂関家以下公家には、「蒸し菓子」が配られました（『禁中近代年中行事』）。



一方、武家では慶長（けいちょう）3年6月16日の夜、豊臣秀吉・秀頼が菓子を手渡した例（『武徳編年集成』）がありますが、徳川幕府で神君家康公の故事に拠っています。徳川家康が三方ヶ原（みかたがはら）の戦いの前、嘉定16年の数字が入った「嘉定通宝」を拾い、「嘉」「通」の音が勝つに通じると喜びました。家来の大久保藤五郎は急ぎ六種の菓子を献じ言祝（ことほ）いだとあります（『嘉定私記』）。以降、幕府では盛大な「嘉祥御祝儀（かじょうごしゅうぎ）」が始まります。大久保藤五郎は、後に幕府御用菓子屋となり、饅頭（まんじゅう）・羊羹（ようかん）・鶉（うずら）焼き（鶉餅）・寄水（よしみづ）・金飴（きんとん）・阿古屋（あこや）の六種を「嘉祥御祝儀」に納めました。

その後、「嘉祥御祝儀」では、江戸城大広間に先の六種に熨斗餅（のしもち）・平麩（ひらふ）を加え、南北26膳、東西69膳、都合1,794膳から（『徳川年中行事』）、居並ぶ大名・旗本へ、将軍手ずから菓子を渡しました。もともと、将軍が渡すのは最初の内だけで、将軍が奥へ退出した後は、大名・旗本は自ら菓子を取って帰るのでした。

慶応3年3月23日、幕府は嘉祥行事の廃止を通達（『徳川禁令考』）。こうして、お菓子が主役だった日は歴史上なくなりしました。なお、昭和54年、全国和菓子協会は、6月16日を和菓子の日に定めています。

和菓子は日本の文化のひとつです。見て、食べて、楽しんで後は、歯磨きを、お忘れなきように。

栃木県立なす風土記の丘資料館 館長 篠原祐一

訳のわからないアルファベットが並んでいますが、International Caries Detection and Assessment Systemの略で、“アイシーダス”と読み、「国際的レベルのむし歯の探知とむし歯の状態を評価する仕組み」のことです。ICDASの考えは、本当につい最近になってからのことで、2002年に始まったあと、2005年にICDAS IIへとバージョンアップし今日に至っています。



＜むし歯の分類と治療＞

現在私たちのなかで知られているむし歯の分類は、むし歯の進行の深さによって分けられていて、C0、C1、C2、C3、C4と5段階で表現します。Cはむし歯のことです。C0は初期むし歯のことで、シーオーと読みます。この方法は、どの段階なら、どう削ってどう被せるかの判断には役立つのですが、初期むし歯の程度が表わせません。つまり、初期むし歯はほったらかして、穴が開いてきたらやっと歯科治療が始まる、ということになります。むし歯治療は歯を削ること、とっていらっやらないでしょうか？実は、むし歯のメカニズムが分かってきた今、初期むし歯を悪くさせないための削らない治療が可能です。そして、そのためには、新たな分類が必要です。

＜ICDAS（アイシーダス）の分類＞

ICDASでは、むし歯を肉眼で確認した状態を、コード0からコード6までの7段階に分類しました。コード0は健康な歯で、先程のC1はコード3に相当しますから、コード1とコード2のうちに削らない治療が始められれば、削らなくても済むことになるかもしれないのです。

＜現在のむし歯＞

むし歯は、1950年代、1960年代の大流行の時代を経て、今では流行とは言えないし、むし歯の進行スピードも遅くなっています。そして、多くのむし歯を持つ人は一部に限られるようになってきました。ICDASには、治療済みの歯のむし歯の再発をコード化できていない課題があるのですが、むし歯の状況が一変した今、このICDASという指標は、とても意味のあるものです。

＜NHK ニュース＞

先ごろ、私の所属する「日本ヘルスケア歯科学会」の代表である杉山精一先生（八千代市開業）が取材を受け、NHKニュースでICDASが取り上げられました。内容は「NHK生活情報ブログ」“治るむし歯”の診断基準、で見る事ができます。



参考引用：杉山精一 豊島義博 飯島洋一 桃井保子 柘植紳平
ICDASが拓く新しいむし歯治療マネージメント
ヘルスケア歯科誌 第11巻 第1号 2009